

2. 納得して治療を受けたい

(1) がん診療を行っている専門医療機関

沖縄県保健医療計画では、国の指定を受けたがん診療連携拠点病院をはじめ、がん種別の専門医の配置や手術療法、化学療法又は放射療法を組み合わせた集学的治療等を実施する医療機関を、専門的がん診療機関として位置づけています。連携拠点病院に関しては➡P70



※2013年4月改訂により専門的がん診療機関の変更が見込まれます。
最新の情報は、沖縄県医務課ホームページでご確認ください。
http://www.pref.okinawa.jp/imu_kokuho
※左メニューの「沖縄県保険医療計画」をクリック

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
県立北部病院	○	○	○	○	○	—	—
北部地区 医師会病院	○	○	○	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—
名嘉病院	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	○	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部 附属病院	○	○	○	○	○	○	○
宜野湾記念病院	—	—	○	—	—	—	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	○	○	—	○

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—
同仁病院	—	—	○	—	—	—	—
大浜第一病院	—	—	○	—	○	○	—
沖縄協同病院	—	—	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○
おもろまち メディカルセンター	—	—	○	—	—	—	—
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○
県立南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	○
県立宮古病院	—	—	○	—	—	—	—
県立八重山病院	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西 クリニック	—	—	—	—	○	—	—

その他のがん種の専門施設については、相談支援センターにお問合せください

➡P28



(2) インターネットで情報をさがす

■ 沖縄県がん診療連携協議会 うちな〜がんネット「がんじゅう」


患者さんやご家族向けの情報(患者会の紹介や患者必携の閲覧、がんについての講演会のお知らせなど)を掲載しています。更に、国立がん研究センターや沖縄県などリンク先も多く、幅広いがん情報を得ることができます。

 沖縄県がん診療連携協議会 うちな〜がんネット がんじゅう
http://www.okican.jp

■ がんに関する医療情報サイト

がんに関する医療情報の中には、いろいろなものがあります。たくさん情報から、自分に必要な情報を見つけるのは大変です。また、新しく正しい情報かどうかを見極めることが重要です。情報を探すときには、「情報発信者が明確か」、「偏った情報でないか」、に注意しましょう。また、インターネットから情報を得ることに慣れていないときや、ほとんど知識がないときは、公的機関が発信する情報を探しましょう。

■ 各種がんの病態や治療、
医療機関や相談支援センターなどに関する情報

 国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報サービス http://ganjoho.jp

 財団法人国際医学情報センター がんInfo.
http://www.imic.or.jp/cancer

 がん情報サイト Cancer Information Japan
http://cancerinfo.tri-kobe.org

※希少がんについての情報も「PDQ®日本語版がん情報要約」として掲載されています。PDQ®(Physician Date Quer)は、米国国立がん研究所が配信する世界最大かつ最新のがん情報です。県がん診療連携拠点病院の相談支援センターまたは沖縄県統括相談支援センターでPDQ®日本語版がん情報要約(がんの情報冊子)を無料配布していますので、必要な方はお問合せください。

■ がんの予防や検診、
がん患者さんやそのご家族に必要な情報サイト

 がんナビ
http://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/cancernavi

■ こどものがんについてのサイト

 公益財団法人がんの子どもを守る会
http://www.ccaj-found.or.jp

 NPO法人子ども医療支援わらびの会
http://www.warabinokai.org

🔍 知って得する基礎知識

【標準治療と科学的根拠(エビデンス)】

現在、がんの治療で最も“上等”な治療を「標準治療」と呼びます。もし、すすめられた治療が標準治療であれば、まずは一安心です。ただし、全てのがんで標準治療が確立されているわけではありません(特に再発後の治療)。患者数の少ないがんでは標準治療が全くないものもあります。それでも標準治療以外の治療法でも、多くの場合何らかの「科学的根拠(エビデンス)」があるものです。また、それが無い場合は、基本的に標準治療を決めるための試験である「臨床試験」として治療を行うのが通例です(特に最初の治療など)。治療方法が示されたときには、必ず主治医に、その治療の科学的根拠の信頼性は高いか、低いかを聞きましょう。なお、がんの他に心臓の病気や糖尿病など他の疾患がある場合は、標準治療以外の治療法がよりよい選択となることがあります。標準治療以外の治療法をすすめられたときは、主治医にその理由を聞いてみましょう。



コチラもCheck!

- ➡ P195 「標準治療(用語の解説)」
- ➡ P187 「科学的根拠に基づく医療(EBM)(用語解説)」

(3) セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。病院をかえることではありません。担当医から自分の病状、進行度、なぜその治療法をすすめるのかなどを十分に聞いた(ファーストオピニオン)うえで、セカンドオピニオンを取ることをおすすめします。

① セカンドオピニオンの受診方法

まず、担当医に相談し、希望先の医療機関に申し込み(予約)をしましょう。次に、紹介状や画像など担当医から受け取り、予約した医療機関でセカンドオピニオンを取りましょう。取った後は、担当医に必ず報告し、今後のことを相談しましょう。

② セカンドオピニオンの費用

セカンドオピニオンは医療保険が適用されない自費診療で、病院によって費用が異なります。目安としては、30分~1時間程度の相談で1万円~1万5千円程度となっています。詳しい情報は、沖縄県がん診療連携協議会のホームページをご参照ください。

(4) セカンドオピニオン実施施設

(2013年2月現在)

北部地区医師会病院 ☎ 0980-54-1111 (内線2136)

〒905-8611 名護市宇字茂佐1712-3

県立中部病院 ☎ 098-973-4111 (内線3232)

〒904-2293 うるま市宮里281

中部徳洲会病院 ☎ 098-937-1070

〒904-8585 沖縄市照屋3-20-1

中頭病院 ☎ 098-939-1300

〒904-2195 沖縄市知花6-25-5

ハートライフ病院 ☎ 098-895-3255

〒901-2492 中城村字伊集208

琉球大学医学部附属病院 ☎ 098-895-1371

〒903-0215 西原町字上原207

国立病院機構沖縄病院 ☎ 098-898-2121 (内線235)

〒901-2214 宜野湾市我如古3-20-14

浦添総合病院 ☎ 098-879-0630 (医療相談・医療連携室)

〒901-2132 浦添市伊祖4-16-1

沖縄赤十字病院 ☎ 098-853-3134

〒902-8588 那覇市与儀1-3-1

沖縄セントラル病院 ☎ 098-854-5511

〒902-0076 那覇市与儀1-26-6

おもろまちメディカルセンター ☎ 098-867-2116

〒900-0011 那覇市上之屋1-3-1

那覇市立病院 ☎ 098-884-5134

〒902-8511 那覇市古島2-31-1

県立南部医療センター・こども医療センター ☎ 098-888-0123

(内線1107、1106) 〒901-1193 南風原町字新川1118-1

与那原中央病院 ☎ 098-882-8116

〒901-1303 与那原町字与那原2905

豊見城中央病院 ☎ 098-850-3811

〒901-0243 豊見城市字上田25

宮古島徳洲会病院 ☎ 0980-73-1100

〒906-0014 宮古島市平良字松原552-1

Dr.久高のマンマ家クリニック ☎ 098-988-4141

〒901-2111 浦添市経塚633 メディカルKプラザ2F

宮良クリニック ☎ 098-878-3311

〒901-2132 浦添市伊祖2-3-1 2F

那覇西クリニック ☎ 098-858-5557

〒901-0154 那覇市赤嶺2-1-9

那覇西クリニックまかび ☎ 098-884-7824

〒902-0068 那覇市真嘉比76



知って得する基礎知識

【セカンドオピニオンを取ろう】

今の主治医とは別の医師の意見を聞くことを、セカンドオピニオンといいます。がんの治療は日進月歩で進んでおり、医師によってすすめる治療が違う場合もあり、ときには別の医師に聞くことでよりよい治療法が見つかる場合もあります。多くの場合は、主治医と同じ判断となりますが、それでも今の選択が正しいことが分かると納得して治療を受ける気持ちになります。こうした意味でセカンドオピニオンを取ることが患者さんの利益となります。

多くの主治医は、がんの診断(病名や病気の拡がりなど)がついた段階で、患者さんに診断名・病期・今後の治療方針の説明を行います。その時にセカンドオピニオンについての簡単な説明とともに、是非セカンドオピニオンを取るよう患者さんにすすめることが一般的となっています。

しかし、がんの専門医の外来はとても忙しいので、つい忘れることもあります。ですから、患者さんから、主治医に対して、「セカンドオピニオンはどうしましょうか?」と質問をしてください。その際に、主治医の先生から、セカンドオピニオンにおすすめの病院と専門医を複数紹介してもらいましょう。主治医は自分自身とは立場の違う医師を推薦することによって、より患者さんに客観的な情報を取って頂けるように配慮をするものです。ですから、皆さん、安心して主治医にいろいろと相談してください。そして、最初の治療を受ける前に、是非セカンドオピニオンを取りましょう。

第2部

よりよい療養生活をおくるために

